

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2019
11

No.275

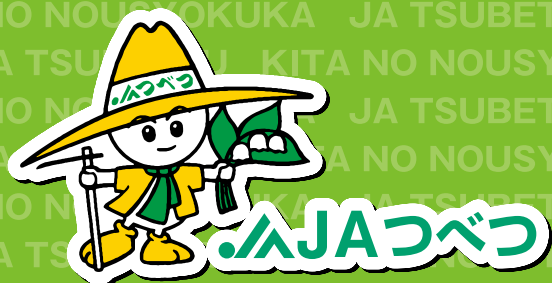


第9回

つべつ産業まつりにて

【開催日】10月20日(日)

【開催場所】さんさん館前広場



第9回 つべつ産業まつり開催!!



『2019 第9回つべつ産業まつり』が、10月20日(日)にさんさん館前広場にて開催されました。

本年度で9回目を迎えた『つべつ産業まつり』は、前日の降雨の影響が懸念されましたが、開催当日は晴天に恵まれ気温も上昇した事から予定していた全てのイベントを無事開催する事が出来ました。

来場者数は700人(主催者発表)を迎え、主催者を代表して石橋崇司副実行委員長(津別町商工会長)より『今年度で9回目を迎えた産業まつりは、津別町の秋のイベントの風物詩となりました。地元で収穫された農畜産物をはじめ、各団体の出店協力により町民の皆様に秋の恵みを楽しんで頂きたい』と開会挨拶を致しました。

その後、津別町山鳴太鼓保存会による『山鳴太鼓演奏』に続き、例年恒例の『馬鈴薯・玉葱詰め放題』では、玉葱が鉄コンテナ2基分約1,300kgと馬鈴薯(男爵)鉄コンテナ1基分1,000kgが会場内にセットされ、販売開始時間前から大勢の来場者が長い列を作りました。

今年はバケツ一杯(200円)に馬鈴薯や玉葱を詰めた後、ビニール袋に入替えて詰め放題を実施し、来場者の中には、何度も列に並び両手いっぱいにして持ち帰りました。

また、だいちとうみの会が行う西網走漁協・網走漁協の青年部による出店では、例年『貝付きホタテ』販売が人気でしたが、今年度は貝毒の影響により『シジミ・ゆでだこ』の販売となりましたが、大勢の来場者により販売開始から1時間程度で完売する盛況となりました。

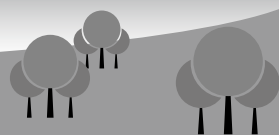


また、子供たちに人気の『きずなカトルフィーユ』、『スマイルファクトリーレインボーバルーン』や『津別中学校吹奏楽部』による演奏、米5kg1,000円・卵L玉(10ケ)2パック100円を始めた『タイムサービス』、『お楽しみ抽選会』では、『ランプの宿 森つべつペア宿泊券』や『つべつ和牛』などがあたることもあり大盛り上がりでした。最後に『餅まき大会』で『第9回つべつ産業まつり』を締めくくりました。





JA情報館



津別町有機農業推進協議会が 輝農祭に出店



第17回輝農祭が10月14日(月)大空町道の駅にて開催され、津別町有機農業推進協議会(会長:石川剛)は明治オーガニック牛乳の試飲会を行いました。オーガニック牛乳を来場者400人に試飲提供し来場者にPRしました。

輝農祭は大空町有機農業を通じて、食の安全や大切さを知ってもらおうと子供達が自ら栽培したカボチャの出店販売や料理実習・試食品の提供、地元や近隣からの多彩な出店、オホーツク産調理品の試食サービスを行います。本年は、有機農産物の野菜詰め放題、野菜販売、また地元産品の飲食ブースでは、津別町川瀬牧場の『ぎゅぎゅ〜っとテラス』が参加し、計30店舗が出店しました。同時開催でオホーツクスイーツフェア、YOSAKOIソーラン祭りオホーツク大会が行われ多くの来場者で賑わいました。

津別町有機酪農研究会が 普通救命講習受講

津別町有機酪農研究会(会長:石川賢一)は、10月29日(火)津別消防署にて、会員6名が普通救命講習を受講しました。酪農作業時、突然のケガや病気になった際、病院に到着するまで応急手当を行うことで、ケガや病気の悪化を防ぐことができます。突然、心臓や呼吸が止まってしまった場合、そばに居合わせた人ができる応急手当を救命処置といい、心肺蘇生としてAEDを用いた救命措置、止血法、骨折の際の応急手当、気道異物除去などの実習を行いました。



津別町学校給食に 『つべつ和牛30kg』を贈呈

津別町肉牛振興会(会長:北野淳志)は、10月16日(水)学校給食に『つべつ和牛』の贈呈を行いました。目録の贈呈を行った北野淳志会長は、『地域の食材を美味しく食べて知ってほしい』と述べ、対応して頂いた宮管玲教育長より『つべつ和牛を児童、生徒達に食べてもらい、グルメな給食で元気よく育ててもらいたい。毎年贈呈していただき子供達は楽しみにしています。素晴らしい地域農畜産物を食べて知ることによって津別町に誇りを持ってもらいたい』と述べられました。



11月19日(火)に『つべつ和牛 牛丼』が提供されるほか、町内のオーガニック牛乳、米、小麦粉、野菜などの農畜産物と加工食品を3日間(11月18日~20日)オールつべつ給食のメニューとして提供されます。

津別町との意見交換会開催



10月10日(木)JA役員会議室にて、津別町との意見交換会を開催致しました。

山下組合長から今年度の農業情勢等を踏まえた開会挨拶に続き、佐藤町長からは『津別町まちなか再生基本計画』の進捗状況を含め挨拶がありました。

引き続き、以下の5項目について意見交換を行いました。

- ①津別町農業労働力支援協議会(居住確保)について
- ②高度無線環境整備推進事業(全町携帯不感地域対策・自動操舵)について
- ③堆肥センター施設改修について
- ④鳥獣被害防止総合対策交付金事業について
- ⑤新規道営事業の受益者負担軽減措置について

～出席者は以下の通り～

【津別町】佐藤町長・伊藤副町長

【津別町議会】鹿中議長・乃村議員【農業委員会】田原会長

【津別町】小野産業振興課長・迫田産業振興課長補佐

【JA】山下組合長・宮川常務・岡本参事・稲部課長・

久保室長・中西課長

新人職員農家実習報告・新人職員研修会開催



▲新人職員研修会の様子

JAつべつでは、新人職員を対象に春と秋の2回、各5日間の日程で農家実習を行っています。

この実習で農家組合員の日頃の業務内容や実体験を通じて、今後のJA業務に資する事を目的として例年行っています。

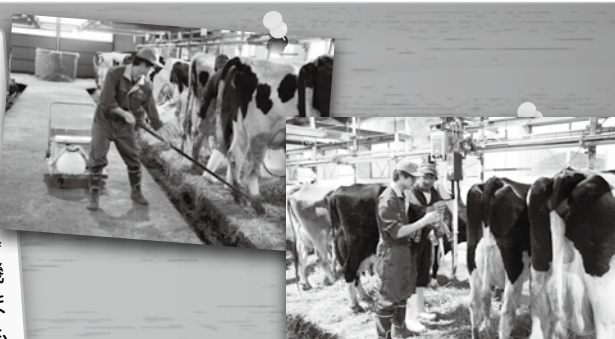
また、9月27日(金)には新人職員研修会を中西管理課長が講師となり、職員人材育成学習・研修実施体系や内部統制文書等について新人職員に分かりやすく解説し、新人職員が抱く不安や普段の業務では聞きづらい事をコミュニケーションを通じて研修しました。

貯金共済課

四栗 敬悟

【実習先】(有)石川ファーム様
【実習期間】9月30日～10月4日

今回は1週間の酪農実習となりました。主な作業内容として午前中は寝糞敷きや牛舎の掃除、午後は給餌作業や哺乳・搾乳作業を行いました。酪農家の朝は早く、集荷日には朝4時半頃作業を開始するとの事でした。実習先では新しい機械の導入によって作業負担を軽減していましたが、他の生産者では機械化が完了していないようで、今後の課題となる点だと思いました。また、TMRセンターや他の生産者の作業を手伝うこともした。また、大変な仕事であると実感いたしました。共済ではなかなか経験できないこの貴重な機会を糧に、より一層の努力をさせていただきます。



畜産課

太田 和也

【実習先】池田 幸弘様
【実習期間】9月17日～9月24日

私は9月17日から5日間、池田幸弘様のもとで農家実習をさせていただきました。

時期的に馬鈴薯の収穫の最盛期であり、ハーベスターでの収穫作業を体験させていただきました。次から次へと流れてくる馬鈴薯の選別作業は、大変な集中力と体力が必要だと感じました。大変な作業ではありましたが、鉄コンが収穫された馬鈴薯で一杯になるのを見ると、自分の事のように嬉しくなり疲れも吹き飛びました。最終日は雨の為、実習は中止となってしまいましたが、4日間の実習で収穫作業の大変さと楽しさを体験できたのは、今後JA職員として働く為の貴重な財産となりました。

農産課

蓮井 聖矢

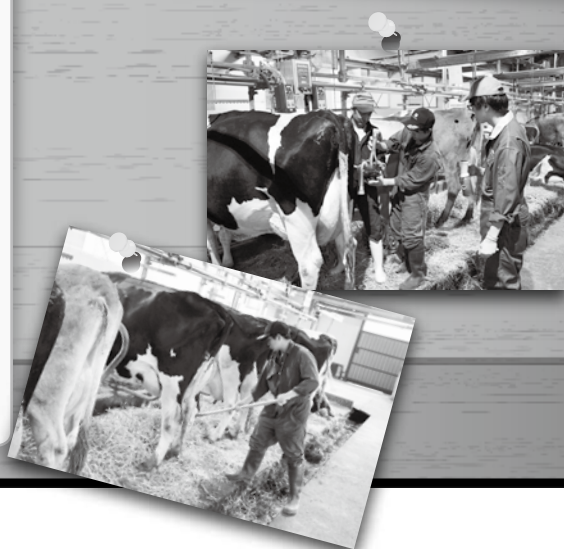
【実習先】(有)石川ファーム様
【実習期間】9月30日～10月4日

今回の実習では、酪農家がどのような事を行っているのか体験することができました。

普段、牛と接する事がないので非常に貴重な体験をする事ができました。搾乳の作業など初めて行い、どのように上手にできるか非常に難しかったです。

生産者は、常に牛の体調管理などを行い、質の高い製品を作るために努力していると思うと改めてすごいと思いました。

今回の実習を通じて、オーガニック牛乳がどのように生産されているのかを自分の目で見て経験できたことは、非常に貴重なことだと感じました。今回学んだことを活かし、より一層生産者のために業務を行いたいと思いました。



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田 稔 章

本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。



総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取り組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を発揮してきているのです。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生

協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構(JCA)が発足したところです。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである『北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現』を継承し、『農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成』と『次代につなげる協同組合の価値と実践』に向けて、JAグループが一体となつて取組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムのひとつとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター1550万人づくりによつて、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合

の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあつたつてのメッセージと致します。



営農支援室からのお知らせ



2020年の営農にあたって

輪作体系は
万全
ですか？

2020年の営農にあたって、 連作回避や畑の透排水性についてご検討下さい。

輪作を実施するために必要なことは、1経営体の中で作物の作付面積がバランス良く作付されていることです。すべての作物が春に植えて、秋に収穫されれば良いのですが、秋まきの作物もあり、その前作の確保が必要となります。一般的には秋まき小麦の前作は馬鈴薯(比較的早堀)となります。津別町の場合、大豆の中にばらまきする小麦の体系もありますが、小麦を適期に播種できる圃場の準備が重要です。

連作はなぜダメなのでしょう。秋まき小麦を例にお話しします。

一般的に秋まき小麦は連作すると1俵減収すると言われています。

秋まき小麦は連作しても収量の低下が目立たないこともありますが、連作の試験では輪作に比べて最大55%減収した事例や、連作が進むにつれて減収が顕著となる例などが確認されています。

表1. 秋まき小麦の連作による減収例

(北海道の小麦づくり抜粋)

試 験 地	連 作 年 数	平均減収割合 (最大減収割合)	減 収 の 要 因
十 勝 農 試 a	2~10	25	雪腐病、条斑病、根基部褐変
		(55)	短稈化・無効茎発生・茎数減
北 見 農 試 a	2~6	16	雪腐病
	7~18	51	雪腐病、同定不能糸状菌による障害
	19~42	26	雪腐病、葉の黄化萎縮症状
北 農 試 畑 作 部 c	8~7	(34)	

注) a:異なる輪作体系における畑作物の収量反応ならびに土壤微生物特性の変動 平成7年指導参考事項

b:畑作物の輪作様式が収量の長期変動に及ぼす影響とその要因 平成13年指導参考事項

c:有機物施用による根圏生態系の改善 北海道農試研報152、33-89(1989)

連作による減収や品質の低下に影響する要因は、上記の例からも分かるように、土壤病原菌の密度の高まりや、直接病原性はなくとも、腐食性の菌の密度が高まることによる生育障害が大きな原因と考えられています。ただし、小麦であれば7年程度連作し続けると、土壤中の菌のバランスは正常化され、収量性が戻ってきます。問題はそれまで経済的に耐えることができるかです。これは特定の土壤病害(小麦では立枯病、条斑病、なまぐさ黒穂病。甜菜では根腐病、葉腐病、黒根病。馬鈴薯ではそうか病、センチュウ類)の発生がないことが前提となります。これを考えると輪作体系を確立する方が経済的にも有効だと思います。

軽労作物に偏ることなく、将来展望も見据えた計画的な作付計画を樹立して下さい。

土壌透排水性の改善

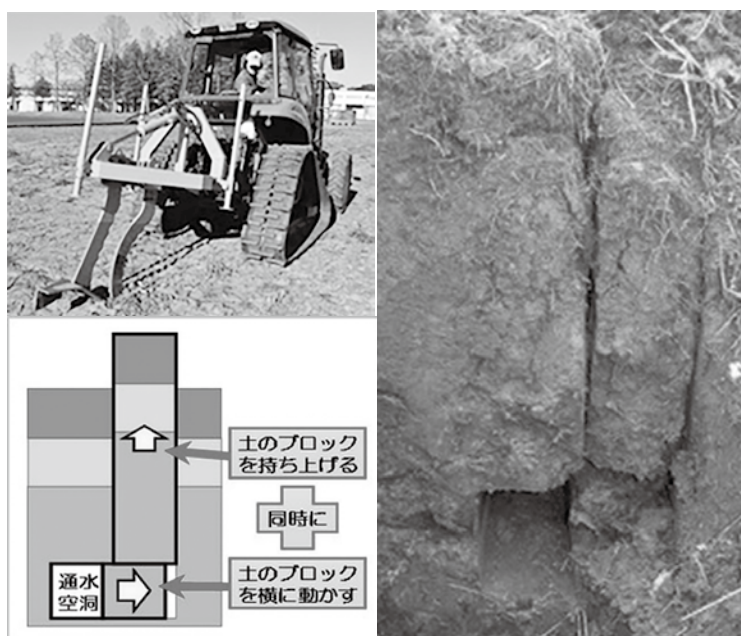
近年降雨が安定しておらず、地域による差や、一回に振る降水量が大量であることから、これまで圃場の排水の良否が並であったところでも、降雨直後は水たまりができるなど排水が不良となる圃場が見受けられます。圃場の排水の7割は表面排水ですので、圃場の表面の排水対策もご検討下さい。

明渠は機能していますか？ 降雨後明渠に水が溜まっていませんか？

明渠に水が滞っているとすれば、畑の作物も同じ深さまで水に浸かった状態になっています。

中には明渠も溜まって地下浸透をしている場合があります。施工後年数が経っていると土砂等の流入により正しく機能しなくなっている場合が多くなっていますので確認をお願いします。

暗渠など基盤整備工事による抜本的対策を実施すると高い効果が見込まれます。一方で、施工コストや事業化までの時間を考えると、生産者が自ら実施可能な改善対策を組み合わせることも必要となってきます。



暗渠が効かない場合は、資材を用いない無材暗渠の一種であるカッティングドレーン工法があります。カッティングドレーン工法は、民間業者（北海道農業公社）の請負で施工が可能です。施工費が6～12千円/10a程度と安価であり、一般的な暗渠に匹敵する排水性が期待でき、かつ大面積を短期間に施工できる工法です。また、カットドレーンというトラクターで施工可能な無材暗渠穿孔機が普及し始めています。（カットドレーン出展：みんなの農業広場、全国農業改良普及支援協会HP）

暗渠は機能し、下層の透排水性が良好な圃場でありながら、作土直下の耕盤層の形成によって透排水性が不良となる場合は、心土破碎などの補助暗渠の施工によって透排水性を改善できます（表2）。

補助暗渠は多様であり、生産者が自ら実施可能なものとして、心土破碎、広幅型心土破碎、モミガラ暗渠、弾丸暗渠、穿孔暗渠などがあります。その効果は、心土破碎に代表される耕盤層対策、排水対策を主目的とした穿孔暗渠など、工法や使用機種によって様々です。なお、心土破碎の様な圃場に亀裂を入れることを目的とする工法は、圃場が乾いたときに時間をかけて施工することが望ましい技術です。

表2. 心土破碎・補助暗渠等の工法と期待される効果の程度(目安) (北海道の小麦づくり抜粋)

工 法	耕盤層対策	排水対策	商品名の例
心 土 破 碎	○～◎	△～○	サブソイラ・パラソイラ
広 幅 型 心 土 破 碎	◎	○	プラソイラ・ソイルリフター・ハーフソイラー
モ ミ ガ ラ 暗 渠	◎	◎	モミサブロー
弾 丸 暗 渠	○	○	振動サブソイラ
穿 孔 暗 渠	—	◎	カットドレーン・カッティングドレーン

JA農業経営ステップアップローンのご案内

JAでは組合員の皆さんの農業経営に合わせた様々なニーズに応えるため、たくさんの農業資金メニューをご用意していますが、その中から今回は低利でスピーディな融資が可能な「JA農業経営ステップアップローン」についてご紹介します。

【資金の概要】

項目	条件
対象者	正組合員および正組合員が出資者(株主)となり設立した農業関連事業を行う会社法人
資金使途	・設備資金：農地取得、農業用施設取得、農業用機械取得等 ・運転資金：家畜の導入等農業経営に必要な中長期運転資金
償還年数	25年以内(うち据置5年以内)
担保・保証人	・農業信用基金協会保証を付保することができます。 ・借入者が法人の場合は、原則として代表者を連帯保証人とします。 ※担保については融資機関であるJAの基準によります。

【主なメリット】

系統利子補給でより低利な借入が可能

資金実行日より5年間(農業機械取得等の場合は3年間) 最大1%の利子補給が受けられます。

増頭を目的とした牛導入資金の場合、保証料が免除

増頭を目的とした乳牛や繁殖牛の導入で農業信用基金協会保証を付保する場合、保証料が全額免除されます。

制度資金よりも迅速な対応が可能

JAの資金であるため、制度資金(スーパーL資金等)と比較して、借入申込日から短期間で資金実行ができます。

詳しくは、JAつべつ
融資課にお問い合わせ
下さい



農業者年金

若いうちから!

女性にも!

節税対策にも!



60歳未満
国民年金
第1号被保険者
年間60日以上
農業に従事
以上の要件を満たす方なら
どなたでも加入できます。
詳細はHPにてご案内しております。
お電話でのお問い合わせもお気軽に。

長い老後を最後までサポート!

全額社会保険料控除で大きな節税効果!

保険料国庫補助による手厚い支援!



お問い合わせ・ご相談

津別町農業委員会
JAつべつ(営農支援室)

TEL: 0152-76-2151
TEL: 0152-76-3322

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。

時間額 **861** 円

（効力発生年月日 令和元年10月3日）

- 最低賃金には、**精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金**は算入されません。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く者には北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。

・厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金室 TEL 011-709-2311（内線 3533）

・札幌中央 労働基準監督署 TEL 011-737-1191
・札幌東 労働基準監督署 TEL 011-894-2815
・函館 労働基準監督署 TEL 0138-87-7605
江差駐在事務所 TEL 0139-52-1028
・小樽 労働基準監督署 TEL 0134-33-7651
倶知安支署 TEL 0136-22-0206
・岩見沢 労働基準監督署 TEL 0126-22-4490
・旭川 労働基準監督署 TEL 0166-35-5901
・帯広 労働基準監督署 TEL 0155-22-8100

・滝川 労働基準監督署 TEL 0125-24-7361
・北見 労働基準監督署 TEL 0157-23-7406
・室蘭 労働基準監督署 TEL 0143-23-6131
・釧路 労働基準監督署 TEL 0154-42-9711
・名寄 労働基準監督署 TEL 01654-2-3186
・留萌 労働基準監督署 TEL 0164-42-0463
・稚内 労働基準監督署 TEL 0162-23-3833
・浦河 労働基準監督署 TEL 0146-22-2113
・苫小牧 労働基準監督署 TEL 0144-33-7396

11月は、労働保険適用強化月間です！

事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。

労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

問い合わせ先 厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課/011-709-2311 または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所（ハローワーク）

JAグループ通信

■ JA北海道中央会



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



■ JA北海道信連



10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



■ JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。

■ ホクレン



GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道

農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。

■ JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもごさいますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

年金友の会情報

第4回 ゲートボール大会

開催日：令和元年10月2日(水)
開催場所：豊永 屋内ゲートボール場

優勝：小野チーム【小野勇・溝渕サカエ・佐藤正明・長尾隆行・大矢根キミ子】

準優勝：藤原チーム【藤原利信・山田照夫・乙武彰・野本弘子・今井保・館野ヨシ子】

3位：佐野チーム【佐野信子・土江幸子・和崎トク・奥村照子・藤原熊男】

4位：佐藤チーム【佐藤朝代・幅口悦子・山下昌子・竹内武二・手賀武一】



第5回 パークゴルフ大会

開催日：令和元年9月25日(水)
開催場所：常呂町森林公園パークゴルフ場

〈男性の部〉



優勝	下川 敏章	【104】
準優勝	鍛冶 博光	【105】
3位	山田 明	【105】
4位	金田 義見	【105】
5位	佐久間基一	【109】
6位	阿部 八郎	【112】
7位	池田 康博	【113】

〈女性の部〉



優勝	佐野 信子	【121】
準優勝	赤池 奎子	【123】
3位	土江 幸子	【123】
4位	花井 静栄	【123】
5位	佐藤 朝代	【125】
6位	石川 峰子	【127】
7位	阿部 文子	【128】

JA ホクレン

期間中のお買い求めをオススメします!

営農用トラック HOKUREN TRUCK LINE-UP

取りまとめ

ISUZU
HINO
UD TRUCK
FUSO
TOYOTA

取りまとめ期間

2019年
11月30
受注分まで

お問い合わせ

JAつべつ 生産資材課 (津別町字活汲512番地)

TEL: 0152-76-3430





11月18日	月	地区酪対委員会・事務所避難訓練	12月 1日	日	
		年金友の会囲碁大会	2日	月	
		・青年部ワークショップ	3日	火	地区懇談会(～4日)・JAバンク企画委員会
19日	火	10月末自治監査(～20日)・企画会議	4日	水	道常参会(～5日)
		・年金友の会GB大会	5日	木	オホーツク女性部合同会議
20日	水	営農組合視察研修(～22日)	6日	金	振興計画推進委員会
		・スマート農業サミット(～22日)	7日	土	
21日	木	JAOC地区協議会	8日	日	
22日	金		9日	月	監査代替的調査II(～13日)
23日	土	勤労感謝の日			・地区共販道外販売推進(～11日)
24日	日		10日	火	3JA非常勤役員研修(～11日)
25日	月	総務委員会・経済委員会	11日	水	常務参事会議
		・玉葱青年部道外推進(～27日)	12日	木	経営会議・管内農福シンポジウム
26日	火	安全衛生委員会			・広域振興会販売推進(～14日)
27日	水	理事会	13日	金	企画会議・スマート農業成績検討会
28日	木		14日	土	閉庁日
29日	金		15日	日	
30日	土		16日	月	

第九回理事会報告

開催日
10月30日

報告事項

- ①令和元年9月末財務状況について
- ②津別町との意見交換会について
- ③令和元年度経営定期点検(上期)改善状況について
- ④信用事業にかかる監査代替的調査(期中調査)について
- ⑤平成30年産種子馬鈴薯本精算について
- ⑥総務常任委員会の顛末について
- ⑦令和元年度給与及び緒手当の改正について
- ⑧営農組合連絡会議道外視察研修について
- ⑨各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑩各課報告事項

付議事項

- 議案第1号
JA70周年記念誌について
- 議案第2号
特例業務負担金の第2次長期前納について

協議事項

- ①地区懇談会の開催について
- ②三JA理事・監事連絡協議会の合同開催について
- ③令和元年度クミカン清算基準について

JAつべつ
特別企画

11月19日は農協法公布記念日
農協誕生お祝い月間!

北海道つべつ
有機ビーフカレーフェア

津別町産の有機玉葱・有機馬鈴しょ・
有機牛肉・有機牛乳を使用した
「JAS有機ビーフカレー」

スープ・サラダ付
950円 → 700円

2019
11.1[金]
▼
11.30[土]

さんさん館カフェ

〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通7番地 【TEL】 070-6487-0899 (担当 北口)

【営業時間】 10:00～17:00 L.O.フード16:00/ケーキ16:30 【定休日】 水曜日